



■プログラム修了生のメッセージ



グリーンアジア国際戦略プログラム
第3期修了生
内田 勇気

GA生としてのこの五年間ではとても有意義な時間を過ごしました。入コース後、やるべきことの多さに戸惑い、苦しみましたが、専門分野、経済、環境、哲学など多数の授業を受講しました。また、英語の授業では、リスニング、ライティング、スピーキングを包括的に学びました。そして、工場見学、海外大学との交流、ラボローテーション、プラクティススクール、海外インターンなどの経験を通じて、以前よりもかなり見識が広がったと感じています。具体的には上記の経験を通じて、異文化に対しての

理解であったり、企業における製品化を意識した研究開発、世界のトップレベルで活躍する研究者との交流などを経験しました。そして何より、不安なく、学んで研究するための経済的支援をいただいたことは5年間過ごすうえで大きな支えとなりました。今後は、定義は難しいですが、一流の研究者または技術者を目指して、粛々と精進していきたいと思っています。

GAプログラムのような経験は誰でもできるわけではなく、リーディング大学院に選ばれた大学の一部のコースのみで展開されていると思います。最近では予算縮小のため授業の種類や色々なイベントが削減されてきてはいますが、GAコース生はかなり恵まれた環境下で学生生活を送れていると感じます。この環境では、研究に没頭することもできますし、自分の目指したい方向性を深く模索することもできます。やりくり次第で様々な将来の可能性を拓くことができると思います。GAコース生であることのメリットを存分に活かして、皆様が一層活躍されることを願っております。最後にこの場をお借りして、GAのスタッフ、教員の皆様に感謝いたします。



グリーンアジア国際戦略プログラム
第3期修了生
崎山 晋

英語喋れるようになりたいなあ…と軽い気持ちで入コースしてしまったグリーンアジアプログラムでしたが、あっという間に卒業の時を迎えました。本コースでの活動を振り返ると、研究能力の高い同期たちや高い英語力とバイタリティを持つ留学生に圧倒され、辛酸を嘗めることが多かったように感じます。その中でも、自分の芯を持って物事に真摯に取り組むことの大事さを痛感しました。これま

で、国内・国外インターン、ラボローテーション、海外研修など多くの経験をさせていただき、本コースでサポートして頂いた先生方、事務局の方々には感謝しかありません。この恩義を返すため、また、今まで私たちに対して行われた多くの投資を回収するためには、社会で莫大な利益を生み出すしかありません。目標達成のために、常に探究心を持って、技術革新に挑戦していく所存であります。繰り返しになりますが、いつも支えてくれた3期生同期、GA事務局の皆様、先生方に深く感謝申し上げます。



グリーンアジア国際戦略プログラム
第3期修了生
藤崎 貴也

本年度、博士課程を修了いたしましたグリーンアジア (GA) 三期生の藤崎貴也と申します。GAに入コースしてからの約5年間、大変恵まれた環境で教育を受ける機会を頂き、関係者の皆様へこの場をお借りして感謝申し上げます。GAに入コースしている学生は、選抜された海外の留学生と日本人であり、彼らの勉学への高いモチベーションに刺激を受けながら博士課程まで来れたことは、今後の私への自信につながると感じています。特に海外からの留学生と対等に、お互いの納得が行くまで英語で議

論を出来る機会を多くいただいたことは、本リーディングプログラムの特色の一つであったと思います。

ここからは後輩へ伝えたいことですが、この5年間GAのカリキュラムを通じて、多くの留学生や海外の研究者との議論で感じたことの一つとして、議論で相手に納得をしてもらう術を積極的に磨いて欲しいということです。特に博士課程を出た理系の学生は、「あなたが有する誰にも負けない先端技術は何か?」、または「どんなプロジェクトを立ち上げることが出来るか?」との間に明確に答えることも必要になってくると感じます。それらの問を常に自分の中に持ち続け、願わくは答えを見つけることで今後のGAでの学生生活をより一層充実させてほしいと思っています。